

J A グループ宮城 災害復興ニュース (総 合 版)

第 9 6 号

【平成 29 年 1 月 4 日 (水) 発行】
発行：J A グループ宮城災害復興本部
編集：J A 宮城中央会
〒980-0011 仙台市青葉区
上杉 1 丁目 2 番 16 号 JA ビル宮城 6F
電話番号：022-264-8207
FAX 番号：022-216-4466

《目次》

1. 東京で農産物フェア。宮城の農業復興をアピール
2. 県 J A 農機担当者連絡協議会と県農機メーカー連絡協議会が熊本に義援金
3. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第 64 次請求

1. 東京で農産物フェア。宮城の農業復興をアピール

J A 宮城中央会は 12 月 22 日、東京・大手町の J A ビルにある農業・農村ギャラリーで開かれた年末特別販売会「大つごもり市」に出店し、2016 年産の環境保全米「ひとめぼれ」や無洗米「ササニシキ」、県産野菜などを販売、「みやぎの農業復興」をアピールしました。

販売したのは J A 名取岩沼のセリ、J A いしのまきの長ネギ、ちぢみホウレンソウ、J A あさひなのトマト、J A 栗っこのカボチャ、生シイタケ、リンゴなど。

冬場とあり、中でも、カボチャや鍋物需要の高いセリ、ネギなどが人気を集めました。

また、お正月に近いこともあり、焼き立てを試食してもらいながら、豆餅、ごま餅などの切り餅も販売。試食でおいしさを実感した人たちが買い求め



それぞれの食べ方などを説明しながら販売しました（東京・大手町の J A ビルで）

餅だけでなく、炊き立ての「ひとめぼれ」や、リンゴ、漬物なども試食を提供、「おいしい宮城産」を PR しました。

2. 県JA農機担当者連絡協議会と県農機メーカー連絡協議会が熊本に義援金

宮城県JA農機担当者連絡協議会と宮城県メーカー連絡協議会は12月16日、チャリティーオークションの売上金約13万円をJAグループ宮城を通じて熊本地震の義援金として送りました。

オークションは、12月17、18日に仙台市の夢メッセみやぎで行われた「JAグループ 担い手営農支援フェスタ2016 in 宮城」で実施したものです。

県JA農機担当者連絡協議会の小野寺幸記会長と県メーカー連絡協議会の今野善男副会長が、JA宮城中央会を訪れ、石川壽一会長に目録を手渡しました。石川会長は「JA全中を通じて、被災地熊本に送らせてもらいます」と語り、感謝しました。



石川会長に目録を手渡す小野寺会長④と今野副会長④

3. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第64次請求

JAグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会は12月21日、第52回総会を開き、東電に対する第64次請求を11万8,944円とすることを決め、12月28日に請求しました。内訳は、1会員分の牧草の利用自粛等にかかわる損害です。

12月20日現在、請求総額約324億7,000万円に対し、受領総額は約310億3,600万円で、請求対比95.6%となっています。

同日の総会には東電東北補償相談センターの鈴木憲靖所長が出席。「損害がある限り賠償する方針に変わりはありません。引き続き協議して良い方向に持っていくよう努力します」と語りました。

以上